

日本国際理解教育学会 第33回研究大会（帝京大学）開催のご案内 vol. 2

第33回研究大会実行委員長 中山京子

大会参加のご準備をいただきありがとうございます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

1 期 日：2024年6月29日（土）・6月30日（日）

※理事会は6月28日（金）午後6時より開催（9号館6階961）

2 会 場：帝京大学八王子キャンパス ソラティオスクエア（キャンパスで一番高い建物）

3 主 催：日本国際理解教育学会

4 後 援：独立行政法人国際協力機構（JICA）、多摩市教育委員会

5 日 程：

(1) 第1日目 6月29日（土）

9:30 10:00 12:00 13:00 14:00 16:30 17:00 18:40

受付	自由研究発表 (5階教室)	休憩	総会	公開シンポジウム (地下1階S011)	移動	情報交換会 21階
----	------------------	----	----	------------------------	----	--------------

* 発表者は9:30より会場で動作確認等ができます。

* 休憩時間などに書店や団体展示の他、地下1階の総合博物館をぜひご覧ください。

* 総会および公開シンポジウム会場は地下1階S011です。

* 情報交換会は21階スカイラウンジです。誘導担当と移動ください。

* 学内の食堂、コンビニは二日間とも営業していません。昼食は各自でお持ちください。

(2) 第2日目 6月30日（日）

9:00 9:30 12:00 13:00 16:00

受付	自由研究発表 (5階教室)	休憩	特定課題研究 5階S517
----	------------------	----	------------------

* 発表者は9:00より会場で動作確認等ができます。

6 公開シンポジウム

「国際理解教育と博物館・万博一異文化を展示・教材化する一」

2025年4月から10月まで大阪にて「いのち輝く未来社会のデザイン-Designing Future Society For Our Lives」をテーマに万博が開催され、世界の文化が交流する場となります。こうした大きな国際イベントだけではなく、国内の各地域には異文化や外国に関する展示をもつ施設があり、国際交流や国際理解に関するイベントや展示は国際理解教育にたびたび活用されてきました。また、国際理解教育において外国や異文化に焦点を当てた教材開発や授業実践が積み重ねられてきています。多様なアプローチや手法がありますが、「異文化」にどうせまり、教師や指導者は何をどう学習者に提示・教材化し、博物館は来館者にどのように展示し教育の機会を提供しているのでしょうか。本シンポジウムでは、異文化を展示する・教材化することについて、いくつかの立場から論じます。

7 特定課題研究

日本国際理解教育学会 研究・実践委員会では、令和4年度より国際理解教育の担い手育成に関する特定課題研究として、次の3つのプロジェクトを進めています。

1. 外国語教育と国際理解教育 2. 教員養成と国際理解教育 3. 地域の多文化化と国際理解教育

「国際理解教育の担い手」とは、学校教員はもちろん、地域社会における多様な機関・団体、人材を含んでいます。プロジェクトを開始して2年が経過した今、これまで委員会で議論してきたことや公開研究会等への参加者からのご意見等を踏まえ、第33回研究大会では、以下の通り各プロジェクトの活動や成果を報告する予定です。特定課題研究では、会員の皆様とのディスカッションを通して、新たな示唆を得たいと考えています。

8 参加申し込みおよび参加費

参加申し込みおよび参加費の支払いは、大会専用HPのマイページよりお願いします。大会参加事前申し込みは6月7日（金）締切です。なお一度お支払いいただきました金額は、返金致しかねますのでご了承ください。

(1) 参加費	事前	学生・院生	2700円	一般	3700円
	当日	学生・院生	3200円	一般	4200円
(2) 情報交換会	事前申込	学生・院生	3000円	一般	4000円
	当日	学生・院生	3500円	一般	4500円

9 自由研究発表

(1) 発表時間 持ち時間は30分（発表:20分、質疑応答10分）です。

(2) 発表資格

発表者および共同発表者は2024年3月31日（金）までに本学会の会員であり、2023年度までの会費を完納していること。

(3) 会場のデバイス対応仕様

プロジェクタ、スクリーンはすべての会場に設置されています。PCをお使いの場合は、ご自身のPCをご持参ください。HDMIケーブルの接続ができます。

(4) 動作確認

自由研究発表開始前に、動作確認時間を設けてあります。必要に応じてご利用ください。

(5) 発表抄録

「研究発表抄録原稿執筆要領」に基づいてA4判2ページで作成し、マイページよりご提出ください。5月10日（金）17:00が提出締切です。PDF原稿でご提出ください。そのまま印刷いたしますので、ご注意ください。また締切までに抄録原稿のご提出がない場合は白紙ページとなります。

10 情報交換会 29日（土曜日）17時より

帝京大学構内発バス時刻（土曜日夜）

- ・高幡不動駅行き 18:42 19:02 19:22 19:42(最終)
- ・多摩センター駅行き 18:50 19:09 19:32(最終)
- ・聖蹟桜ヶ丘駅行き 18:42 19:11 19:36(最終)

11 会場 ソラティオスクエア 5階 (キャンパスで一番高い建物)

- S51 休憩室
- S52 分科会 1・分科会 9
- S53 分科会 2・分科会 10
- S54 分科会 3・分科会 11
- S55 書店 (帝国書院)
- S56 書店 (明石書店)

- S57 グローバル教育推進プロジェクト (GiFT) 展示等
- S58 JICA 地球ひろば展示等
- S59 分科会 4・分科会 12
- S510 分科会 5・分科会 13
- S511 学会事務局・大会運営控室

- S512 分科会 6・分科会 14
- S513 分科会 7・分科会 15
- S514 分科会 8・分科会 16
- S515 休憩室
- S516 休憩室



- S517 2日目午後特定課題

<地下>

- S011 1日目午後総会/シンポジウム
帝京大学総合博物館 土曜日開館



【問い合わせ先】

日本国際理解教育学会第33回研究大会実行委員会事務局
 〒192-0395 東京都八王子市大塚 359 帝京大学 中山京子研究室
 e-mail: kokusairikaitaikai2024@gmail.com

大会に関するお問い合わせは、上記アドレスへメールでお願いします。

1日目 6月29日(土曜日)

分科会1 S52 教室 司会：山西優二(元早稲田大学)、中澤純一(東京未来大学)

企業と連携して行う国際理解教育の一試案

古野美香(帝京大学小学校)、柄澤周(帝京大学小学校)、
山口真緒(タイガーモブ株式会社)

博学連携による構成主義的学習の意義と課題

津山直樹(創価大学)、高野慎太郎(自由学園高等部)

未来洞察ワークショップを組み込んだ共創する初等社会科授業の開発

澁谷友和(奈良教育大学)

渡部淳のドラマ技法は何を目指しているのか? -「自立的学習者=自律的市民」を育成するための方法として-

廖穎彤(日本大学大学院)

分科会2 S53 教室 司会：吉村雅仁(奈良教育大学)、石森広美(北海道教育大学)

グローバル意識の涵養を目指した小学校英語授業の構想と試行的実践

石森広美(北海道教育大学)、佐々木果音(多賀城市立多賀城小学校)、
和田万葉(仙台市立大和小学校)

Transnational Korean-Japanese Textbook Dialogues: Focusing on Gender Narratives in Korean, Japanese, and Korean Textbooks

Park, Hanna (Master student, Seoul National University of Education)

一人ひとりの複言語能力を育むための外国語教育 -感性と多面的思考-

杉本孝美(桃山学院教育大学)、山川智子(文教大学)、
中井精一(大阪教育大学)

書道を利用した複言語教育実践の試み

吉村雅仁(奈良教育大学)、ドコヴァ・ヨアンナ(奈良教育大学大学院)

分科会3 S54 教室 司会：横田和子(日本映画大学)、由井一成(早稲田大学)

カナダのグローバル・シティズンシップ教育と先住民族 -政府機関と教育省の動向を中心に-

由井一成(早稲田大学)

グローバル・シティズンシップを育む学習活動の構造 -実践を可能にするための学習目標の設定-

池田花笑子(大阪市立中之島小中一貫校/中之島小学校)

Analyzing the Discourse of Artificial Intelligence in Korean Social Studies Education through the Lens of Global Citizenship Education

Jho, Daehoon(Sungshin Women's University)

Transnational Korean-Japanese Textbook Dialogue: Focusing on global citizenship education

Ban, sunhee, Kim, Yumin, Kwon, Daseul (Master student, Yonsei, University)

分科会 4 S59 教室 司会：森田真樹（立命館大学）、岩坂泰子（同志社女子大学）

グローバル意識を育てる低学年の教材開発 -PBL 学習の基盤作りとして-

土屋京子（千葉市立有吉小学校）

絵本を通じた多文化理解 -ステレオタイプ形成に陥らないための留意点の検討-

小野寺美奈（東洋大学）、當銘美菜（目白大学）

国語教育における戦争の扱い

高松美紀（東京学芸大学附属国際中等教育学校）

英語に苦手意識を持つ高校生の意識変容プロセス -東南アジアの高校生との「にほんご」による研修を通して-

中尾有岐（国際交流基金関西国際センター）

分科会 5 S510 教室 司会：藤原孝章（元同志社女子大学）、山本勝治（開智国際大学）

生活科教科書分析から考察する小学校低学年における多文化共生教育の可能性と課題

山田文乃（立命館大学／兵庫教育大学大学院連合）

多文化社会におけるホリスティックコミュニケーションの意義 -国際共修における授業実践の分析から-

菊地恵美子（東北大学）

外国人のための日本語教育における「子ども向け新聞」活用と展望

高橋宏輔（朝日学生新聞社）、藤原孝章（元同志社女子大学）

高等学校「探究ゼミ」における GCED 実践 -フィリピンのコーヒー農園を題材として-

岸本直子（箕面自由学園高等学校、大阪大学大学院人間科学研究科）

分科会 6 S512 教室 司会：永田佳之（聖心女子大学）、阿部裕子（東京福祉大学）

「国際理解教育」はどのように評価されてきたのか -ユネスコ国際教育勧告のモニタリング調査から-

阿部裕子（東京福祉大学）

韓国のユネスコ石座(Chairs)およびユニツイン(UNITWIN)ネットワーク事業の現状と課題

Kim, Jong-Hun (Office of Planning and Administration, APCEIU)

Kim, Da-Won (Gwangju National University of Education)

Kim, Sunmi (Chung-Ang University)

不確実性の時代における若者の「戦争」体験 -アウシュビッツ・テレジン・ユネスコへのスタディツアーを事例に-

永田佳之（聖心女子大学）

国際理解の資質・能力の育成の観点からみた高等学校の海外研修 -SGH とユネスコスクール双方に指定された学校に着目して-

藤井三和子（兵庫県立神戸商業高等学校、兵庫教育大学大学院）

分科会 7 S513 教室 司会：石川一喜(拓殖大学)、荒川裕紀(明石工業高等専門学校)

中学校社会科における SDGs 目標間の相互関連性に着目した学習活動 -実践から見えた課題と可能性-

菊池徹(横須賀市立久里浜中学校)

スモールスクールから世界を覗く -ポスト SDGs の学校教育のあり方 (試案) -

石川一喜(拓殖大学)

葛藤の表現としてのレゴ®シリアスプレイ®

糀広大(広島大学大学院)

祭礼・宗教の教材化に関する一考察

荒川裕紀(明石工業高等専門学校)

分科会 8 S514 教室 司会：川口広美(広島大学)、青木香代子(茨城大学)

社会正義のための教育実践としてのエスニック・スタディーズの可能性

青木香代子(茨城大学)

エスニック・スタディーズと子供の人権を大切にする教育

田中淳子(University of San Francisco)

2023OECD 報告書から見た外国人児童生徒教育の課題と可能性 -公正と包摂を起点とする教育へ向けて-

福山文子(専修大学)

イングランドにおける教師の多様性の保障に向けた取り組み

菊地かおり(筑波大学)、川口広美(広島大学)

シンポジウム 6月29日(土) 14:00 - 16:30 地下1階 S011

国際理解教育と博物館・万博—異文化を展示・教材化する—

趣旨説明 中山京子(帝京大学)

「アイヌ像をめぐる教材開発研究の視点から」

藤原孝章(同志社女子大学名誉教授)

「大学博物館は、国際理解教育実践の場所になりえるか? - 総合大学が設置する大学博物館における異文化に関する展示及び教育支援のありかた-」

堀越峰之(帝京大学総合博物館)

「学習者の見方を広げる異文化理解の教材開発と授業実践」

増田有貴(阿賀野市立水原中学校)

「万博展示を教材化する- 25 大阪・関西万博を素材に-」

中牧弘允(吹田市立博物館特別館長、国立民族学博物館名誉教授)

*情報交換会は17時より21階のスカイラウンジで開催いたします。21階までアクセスできるエレベーターは限られておりますので、誘導担当とともにご移動ください。

2日目 6月30日(日曜日)

分科会9 S52 教室 司会：市瀬智紀(宮城教育大学)、松倉紗野香(埼玉県立伊奈学園中学校)

ESDに関わる教師の教育観の変容に関する研究

松倉紗野香(埼玉県立伊奈学園中学校)

「ハーモニーの教育」の可能性

萱原真希(聖心女子大学大学院)

「平和・人権・持続可能な開発のための教育に関する勧告」に基づくESDの授業実践に関する一考察

森田育志(神戸大学附属中等教育学校)

Transnational Korea-Japan Textbook Dialogue: Focusing on Sustainable Development Education

Shin, Jungeun (Master student, Seoul National University of Education)

分科会10 S53 教室 司会：大滝修(東京経済大学)、木村大輔(グローバル教育推進プロジェクト)

国連ユースボランティアの体験からの学びとは-事例からの一考察-

三牧純子(明治大学)

生徒の変容を促すための学びの考察②-学ぶ動機づけ、アプローチ、省察が与える影響の分析-

木村大輔(グローバル教育推進プロジェクト(GiFT))

学習指導要領の資質・能力論に基づいた国際理解教育における教育効果の検証

大塚圭(中央大学杉並高等学校)

当事者との出会いがもたらす探究学習の質的变化-炊き出しアートスペースで路上生活経験者と出会う-

吉野華恵(東京大学大学院)

高校生が異文化当事者と地域社会の結節点となる実践例-共に育つ By stander の視点から-

大滝修(東京経済大学)

分科会11 S54 教室 司会：風巻浩(前東京都立大学)、清水和久(金沢星稷大学)

台湾の小学校と国際協働学習を行う日本の小学校を支援する大学のアプローチ

清水和久(金沢星稷大学)

Transnational Korean-Japanese Textbook Dialogue: Focusing on "Socially Engaged Education"

Lee, Sangyun (Master student, Seoul National University of Education)

日韓の友好を築く小学校での交流学習

矢野淳一(伊豆の国市立大仁北小学校)

日本と韓国の年中行事から学ぶ異文化理解の学習方法(小学校4年生、6年生の授業実践を通して)

吉藤玲子(帝京平成大学)

授業の協働設計を通じた教師の力量形成-日韓オンライン国際交流学習を事例として-

関愛(筑波大学大学院・院生)

分科会 12 S59 教室 司会：原瑞穂（東京学芸大学）、居城勝彦（東京学芸大学附属高等学校）

小学校における水を題材とした国際理解教育に関する実践 -アラル海と仮想水をテーマとして-

中陽佑（奈良市立都祁小学校）

太平洋地域の音楽に目を向ける試み -高等学校音楽における教材開発②-

居城勝彦（東京学芸大学附属高等学校）

「太平洋」と出会う富山県の小学校1年生の国際理解教育 -2年間の取り組みから-

山崎優菜（黒部市立村椿小学校）

太平洋をテーマにした単元開発 -小学校第3学年「太平洋とつながり、太平洋に生きる」の実践から-

東優也（海老名市立杉久保小学校）

太平洋の島々との対話から授業をつくる -サイパンに生きる童謡「モモタロウ」から-

中山京子（帝京大学）、東優也（海老名市立杉久保小学校）

分科会 13 S510 教室 司会：福山文子（専修大学）、林加奈子（桜美林大学）

サービ斯拉ーニングを通じた定時制生徒の居場所づくり -外国につながる生徒にフォーカスして-

林加奈子（桜美林大学）

多様な社会の息苦しさに向きあう -多文化共生教育をどのようにアップデートするか-

孫美幸（文教大学）

移民学習の視点から考える子どもの声を活かしたカリキュラム創発の可能性

高野慎太郎（自由学園高等部）、津山直樹（創価大学）

中等学校の移民学習における開発的・実践的研究

中澤純一（東京未来大学）

分科会 14 S512 教室 大津和子（元北海道教育大学）、姜英敏（北京師範大学）

理解できなさを前提とした『異己』プロジェクトの中国実践

姜英敏（Jiang Yingmin）（北京師範大学国際比較教育研究院）

The Clash of Civilizations or Co-existence and Creations of Cultures: Reflections on International Understanding Education with “Tianxia” Perspective

滕珺(Teng Jun)（北京師範大学国際比較教育研究院）

The Progress and Challenges of the SDG 4: Insights from PISA 2022

丁瑞常(Ding Ruichang)（北京師範大学国際比較教育研究院）

Practice of EIU in Chinese K-12 Schools: A Case Study of Chengdu High-tech Zone

胡映昀(Hu Yiyun)（北京師範大学国際比較教育研究院）

分科会 15 S513 教室 司会：釜田聡（上越教育大学）、橋崎頼子（奈良教育大学）

国際関係史と国際政治学を基盤にした「和解」の追体験学習

松村淳（美祢市立豊田前小学校）

万国博覧会（万博）とは何か -万博の歴史を振り返り考える-

小川正人（環太平洋大学）

米軍統治下の国家再建のための学校教育定着プロセス -日韓事例の比較考察-

Cha, Boeun (Yonsei University, Graduate School of Education)

Park, Soonyong (Yonsei University)

Transnational Japan-Korea Textbook Dialogue: Focusing on History Education

Yu, Jiin (Master student, Seoul National University of Education)

分科会 16 S514 教室 司会：小林亮（玉川大学）、菊地かおり（筑波大学）

「正義の対立」におけるメタ認知の形成をめざす教師教育プログラム開発の試み-地球市民の資質への問い-

小林亮（玉川大学）

協働的にグローバルなマインドセットを培う -探究的な学びへの転換を目指した教員養成のあり方-

小松万姫（国際基督教大学）、山本勝治（開智国際大学）

在外教育施設派遣教師の教育観の変容 -「越境的」教員研修をどのように語るのか-

川本吉太郎（広島大学）、高須明根（広島大学大学院・院生）

太田淳平（聖ヶ丘保育専門学校）、田口直也（AIC 国際学院京都初等部）

地球市民を育む海外研修 -自己変容を促す「深い学び」の視軸の探求（試論）-

小関一也（常磐大学）

被爆地広島から発信する平和教育と異文化理解 -国際バカロレア校と大学の実践例からの示唆-

大崎美佳（広島女学院大学）

特定課題研究 6月30日（日）13:00 - 16:00 S517 教室

13:00~13:10 趣旨説明 石森 広美（北海道教育大学）

13:10~14:40 第1部 プロジェクト（分科会）報告

1. 外国語教育と国際理解教育：

石森広美・中陽佑（奈良市立都祁小学校）・佐藤大輔（上越教育大学附属中学校）

2. 教員養成と国際理解教育：橋崎頼子（奈良教育大学）・市瀬智紀（宮城教育大学）他

3. 地域の多文化化と国際理解教育：南雲勇多（奈良教育大学）他

14:40~15:00 質疑応答・問いの共有

15:10~16:00 第2部 グループ（分科会別）討論/シェアリング

京王バス 時刻表

高幡不動駅発		帝京大学構内行	
凡例 ○・・・印は直行便			
平日	時	土曜	日祝
	30 40 50	7 31 50	7 31 50
2 (7) (10) 15 (20) 25 (28) (31) (35)	8 6 12 25 32 45 52	8 5 12 25 32	8 45 52
	(43) (48) 50		
0 7 15 22 30 37 42 48	9 5 12 25 32 45 52	9 5 12 27 47	9 5 12 27 47
(0) 5 (10) (15) 19 (21) (25) (29) (33)	10 5 12 25 32 45 52	10 7 27 47	10 7 27 47
	(40) 45		
5 17 29 41 53	11 5 12 25 32 45 52	11 7 27 47	11 7 27 47
(3) 7 (10) 15 (18) (30) 32 (35) (39)	12 5 12 25 32 45 52	12 7 24 42	12 7 24 42
	(45) 47		
0 10 20 30 40 50	13 5 12 27 47	13 7 27 47	13 7 27 47
2 14 26 38 50	14 7 27 47	14 7 27 47	14 7 27 47
0 10 20 30 40 50	15 7 27 47	15 7 27 47	15 7 27 47
0 10 20 30 40 50	16 7 27 47	16 7 27 47	16 7 27 47
0 10 20 30 40 50	17 7 27 49	17 7 27 49	17 7 27 49
5 14 25 35 50	18 6 26 46	18 6 26 46	18 6 26 46
5 25 45	19 6 26	19 6 26	19 6 26
0 25 45	20	20	20
	21	21	21

所要時分 (HP上) 各停13分 直行11分

帝京大学構内発		高幡不動駅行	
凡例 ○・・・印は直行便			
平日	時	土曜	日祝
	46 56	7 47	7 47
6 25 43	8 12 22 28 41 48	8 12 21 28 41 48	8 12 21 28 41 48
7 18 25 31 44 48 56	9 1 8 21 28 41 48	9 1 8 22 43	9 1 8 22 43
3 24 33 (42) 49 (56)	10 1 8 21 28 41 48	10 5 25 45	10 5 25 45
4 21 33 45 57	11 1 8 21 28 41 48	11 5 25 45	11 5 25 45
9 (18) 24 (32) 39 54	12 1 8 21 28 41 48	12 5 25 42	12 5 25 42
4 16 26 36 46 56	13 1 8 21 28 43	13 0 25 45	13 0 25 45
6 18 30 42 (45) 54	14 3 23 43	14 5 25 45	14 5 25 45
6 (13) 15 25 35 45 55	15 3 23 43	15 5 25 45	15 5 25 45
5 15 (18) 25 35 (38) 45 (48) 55	16 3 23 43	16 5 25 45	16 5 25 45
5 15 25 35 45 55	17 3 23 43	17 5 25 45	17 5 25 45
5 (10) (14) 20 (24) 29 (34) 40 53	18 5 22 42	18 5 22 42	18 5 22 42
	19 2 22 42	19 2 22 42	19 2 22 42
	0 20 42	20	20
	2 21	21	21

京王電鉄バス(株) 桜ヶ丘営業所 TEL 042-591-2712

聖蹟桜ヶ丘駅発		帝京大学構内行	
凡例 ○・・・印は直行便			
平日	時	土曜	日祝
	42 55	7 52	7 52
5 12 (22) (25) 32 (35) (40) (45) 52	8 2 22 52	8 22 52	8 22 52
	(5) 12 (25) 32 (45) 52	9 22 52	9 22 52
(5) (7) 12 (15) (22) (27) 32 (35) (40)	10 22 52	10 22 52	10 22 52
	(45) 52		
12 32 52	11 22 52	11 22 52	11 22 52
(1) (5) 12 (17) (24) (29) 32 (45) 52	12 22 45	12 22 52	12 22 52
7 27 47	13 22 52	13 22 52	13 22 52
(5) 12 (18) 27 47	14 22 52	14 22 52	14 22 52
7 27 47	15 22 52	15 22 52	15 22 52
12 32 52	16 22	16 32	16 32
12 32 52	17 2 42	17 12 52	17 12 52
12 32 52	18 22 52	18 32	18 32
12 37 57	19 17	19 12	19 12
17	20	20	20

所要時分 (HP上) 各停16分 直行15分

帝京大学構内発		聖蹟桜ヶ丘駅行	
凡例 ○・・・印は直行便			
平日	時	土曜	日祝
	1 32 52	8 11 21 42	8 11 42
12 32 52	9 12 42	9 12 42	9 12 42
12 32 (40) 52	10 12 42	10 12 42	10 12 42
12 32 52	11 12 42	11 12 42	11 12 42
12 (22) (24) 32 (42) 52	12 12 45	12 12 42	12 12 42
	(4) 12 32 52	13 5 42	13 12 42
12 (23) 32 (36) (42) 52	14 12 42	14 12 42	14 12 42
(2) 12 (22) 32 (42) 52	15 12 42	15 12 42	15 12 42
(2) 12 (22) (28) 32 (35) 52 (55)	16 12 42	16 12 52	16 12 52
	12 32 52	17 22	17 32
(0) 12 (22) 32 (42) 52	18 2 42	18 12 51	18 12 51
	15 35	19 11 36	19 31
	0 20 40	20	20

京王電鉄バス(株) 桜ヶ丘営業所 TEL 042-591-2712

多摩センター駅発		帝京大学構内行	
凡例 ○・・・印は直行便			
平日	時	土曜	日祝
	45 52 58	7 52	7 50
3 (10) (13) 17 (23) (27) (31) 33 (37)	8 7 20 37 52	8 10 32 52	8 10 32 52
	(40) 52		
5 18 33 (40) 47 (52) 57	9 8 21 37 50	9 14 34 56	9 14 34 56
1 (7) (12) (17) 19 (24) (29) 32 (40)	10 5 20 35 47	10 16 38 58	10 16 38 58
	48		
5 22 38 49 (54)	11 5 20 37 50	11 20 40	11 20 40
3 (10) (15) 17 (21) (24) (27) 32 (40)	12 5 20 33 47	12 2 22 44	12 2 22 44
	47		
4 20 33 (40) 49	13 5 20 33 50	13 4 26 46	13 4 26 46
(0) 3 (10) (17) 20 32 (41) 48	14 7 22 33 47	14 8 28 50	14 8 28 50
3 (10) 20 33 (41) 47 (58)	15 6 19 40 52	15 10 32 52	15 10 32 52
2 (10) 20 32 (41) 48	16 5 20 36 47	16 14 35	16 14 35
6 20 33 (41) 48	17 5 20 35 50	17 2 32 59	17 2 32 59
2 (10) 23 37 47	18 5 28 47	18 40	18 40
	7 37	19 12	19 20
	6 28	20	20

所要時分 (HP上) 各停18分 直行14分

帝京大学構内発		多摩センター駅行	
凡例 ○・・・印は直行便			
平日	時	土曜	日祝
	8 17 26 33 42 53	8 14 30 43	8 11 31 53
4 16 27 40 55	9 0 16 31 43 59	9 13 35 55	9 13 35 55
9 25 (37) 44 (49)	10 12 28 43 58	10 17 37 59	10 17 37 59
0 13 28 45	11 15 27 43 59	11 19 41	11 19 41
1 (11) 13 (20) (28) 30 (41) 43	12 13 28 47 57	12 1 23 43	12 1 23 43
0 (11) 15 26 42	13 12 27 43 57	13 5 25 47	13 5 25 47
0 (5) 11 (20) (25) 29 (32) (37) (42)	14 12 30 45 57	14 7 29 49	14 7 29 49
	45 (49) (54)		
0 (10) 15 29 43 (55)	15 12 29 42	15 12 32 54	15 12 32 54
0 (6) (12) 15 (19) (24) (27) 30 (34)	16 3 15 28 43 59	16 14 36 57	16 14 36 57
	(38) 45 (54)		
0 (10) 15 29 43 (51) (56)	17 12 28 42 58	17 25 55	17 25 55
0 (6) (12) 15 (25) 29 (36) 46	18 12 28 50	18 21	18 21
	0 (9) 30	19 9 32	19 2 40
	0 29 51	20	20

京王バス(株) 多摩営業所 TEL 042-357-0031

- ・バスの他、帝京大学構内までのタクシー乗り入れも可能です。
- ・多摩モノレール「大塚帝京大学駅」からは上り坂が続きますので、ご注意ください。